

## シリーズ『障害を越えて』

⑰ 中央支部 松久保 雪子

障害者の仲間が集まれば、百人百様、それぞれが宿命的な障害に立ち向い人生をたくましく生きています。障害を乗り越えた方や、いまだ奮闘中の友もその想いを文章に託して伝えてみませんか。それは私達障害者にとって、おおいなる人生のエールになるにちがいありません。

### ♪♪私の生きがい♪♪



90才の誕生日

「お父さんこれからお仕事に行ってくるからね～」 「おいおい、その年でお前に何の仕事があるんだい？」と返事が返ってきそうな日課が始まりました。

私は、今、週に3日ゆうあいの郷へお世話になっております。長崎生まれの私は縁あって仕事で長崎に来ていた鹿児島島の主人と結婚し、東京に出ていたのですが、義父の死をきっかけに45歳の時、鹿児島島に移住しました。私も約15～6年市内の漬物工場でパートとして働いていました。

主人の定年と同時に2人でゆっくりとした時間を過ごしていたのですが、72～3歳頃頃から少しずつ膝の痛みを感じるようになり、整形外科へのマッサージなどへ毎日欠かさず6年間主人が連れて行ってくれました。その主人が糖尿病の合併症から脳梗塞を患い、入院し、そのまま寝たきりの身障1級になったのです。

私が79歳の時でしたが痛い足を引きずり毎日のようにバスを乗り換え主人の病院へ通っていたせいか無理が重なり、足の痛みを忘れるどころか、ますます膝は赤く腫れるばかりで毎晩の湿布も効きません。

とうとう家の中を膝を曲げたまま、お尻をずらして移動するような姿になる程痛くて、県外の病院で働いている娘と相談し、81歳で手術に踏み切りました。

先生の話しでは片方ずつ手術する人が多いとのことでしたが、私は1日でも早く主人の所へ行かなければならないという目標を持ち、両足、1回での手術をお願いしました。

術後3日目からのリハビリは痛くて痛くて涙の出る程の毎日でした。でも、元気な時、私を毎日マッサージなどへ連れて行ってくれた主人のことを思うと、早く帰ってまた主人の面倒を見てあげたい気持ちの方が強く、頑張っってリハビリの痛さをこらえ1ヶ月で退院。その後の1ヶ月も家でのリハビリを自分なりに毎日続け、退院1ヶ月後の診察でやっと先生の合格をもらい、その日から早速2ヶ月振りに主人の所へ行きました。

その後は、毎日欠かさずバスを乗り換え、主人の所へ7年間通っていましたが、4年前主人は逝ってしまいました。でも、主人の所へ通う毎日の通院がリハビリになったのでは、と、今は思うことです。

一人暮らしになり、足は良くなったのに何もすることがなく家にいた私でしたが、ちょうどコロナがまん延した時で外に出ることも出来ず、人に逢うこともためらい、娘たちも県外から来ることも出来ない時期に従姉妹の紹介でゆうあいの郷を知りました。

長い、ブランクのあった私に何か出来ることがあるのかな？と思う不安もあったのですが、体験をさせてもらったら、こんな年齢の私でも出来る仕事が色々あることにびっくりし、職員の方や皆さんの雰囲気も良く89歳で入所させてもらいました。

紹介してくれた従姉妹も一緒に入所し、心強いです。

作業所での仕事も丁寧に優しく教えて下さり、温かく見守って下さり、何の心配もなく楽しくやらせて頂き、本当に有難く思っています。入所して五月末で一年になりますが、作業所に行くことで、みんなと話して笑って一日をあっという間に過ごし、一週間のリズムがうまく回っているような気がします。作業所を知らずにいたら、今頃、長いコロナ禍のせいで巣ごもりが続き、ひよっとしたら認知症になっていたかも知れません。

今年二月で満90歳を迎えました。ゆうあいの郷の皆さんに誕生祝いをしてもらった時は、胸いっぱい涙があふれ、カメラを向けられても笑顔になれませんでした。本当に嬉しかったです。

81歳で膝の手術を受け障害者手帳をもらったことで、作業所にも入所でき、少しなりとも私のできる範囲の作業をさせてもらい、ここに通える事が今の生きがいになっております。

100歳まで頑張りたいと言っていました。欲は言わず、コロナと向き合いながら一年ずつ年を重ね、一日でも長くゆうあいの郷に通えるようにと思っております。

私は家の中の事はすべて自分でこなしていますが、買い物や、その他いろいろと従姉妹に支えてもらっています。まるで娘のようなこの従姉妹の助けなしでは、私の生活は成り立ちません。本当に心から感謝しています。

現在、子供や孫のことも何の心配もなく、90歳まで元気で生きてこれて、幸せをかみしめております。

「お父さん、ただいま〜今日も無事に帰って来ましたよ〜」と主人の遺影に手を合わすと「おお〜そうか、良かったな〜」と空耳が聞こえます。



シリーズ『障害を越えて』

## 原稿募集のお知らせ

書くのが苦手な方はインタビューに伺います。

自薦・他薦を問いません。たくさんの原稿をお待ち致しております。

(400字詰原稿用紙2~4枚)

# 社会福祉法人鹿児島市身体障害者福祉協会 会員加入 のお願いです。

社会福祉法人鹿児島市身体障害者福祉協会は、  
鹿児島市にお暮しの身体障害者手帳をお持ちの方が相集い相互扶助精神のもと  
自立と社会参加を目指して福祉活動を展開しています。  
とは言え、私たちの活動には皆様のご理解とご協力がとても大切になります。  
車いすを押していただいたり、荷物を持っていただいたり、  
日々の生活の中でたくさんの心温まるご支援を賜り本当にありがとうございます。  
つきましては、皆様方に会員として当協会を支えていただきたく思いますようお願いいたします。



会員の種類と会費(年額)			
個人の方	障害者手帳をお持ちの方		1,000円
	サポート、支援にご協力いただける個人の方		
企業の方	サポート、支援にご協力いただける企業の方	1口	5,000円～
	特別企業会員の方 (ご希望により当協会「福祉新聞」に貴社の 広告を掲載させていただきます。)	1口	20,000円～

会費を納入していただける方は、同封しました振込用紙をご利用ください。

### 【お問い合わせ先】

鹿児島市身体障害者福祉協会 099-253-9771



## キャリア人材バンク

生涯現役社会の実現に向けて、高齢者の就業を支援します。

高齢者のキャリアを活用したい事業所様と自らの能力・経験を生かし、  
働くことを希望する方のマッチングを行います！

お問い合わせ先

公益財団法人 産業雇用安定センター

鹿児島事務所 鹿児島市中央町26-18 南日本ビル4階

☎ 099-812-9551 FAX 099-258-9101

ご利用時間 9:00～17:00 (土・日・祝日は休業)

## また一つ夢が叶いました

当協会が運営する就労継続支援B型事業所「ゆうあいの郷」で昼食を提供できるようになりました。

あったかいご飯と、あったかい味噌汁と栄養バランスを考えて献立されたおかず。皆さん、完食されて喜んでいきます。

お昼前になると炊き上がるご飯の香りが食欲を誘ってお腹の虫が騒ぎます。

みんなで準備して、みんなで食べて、みんなで片付けます。そして、みんなで健康になります。

4月1日から、ゆうあいの郷に昼食制度がスタートしました。



長年の夢だった作業所の給食が実現



これからも、地域とともに。



**山形屋**  
〒982-8801 山形市金生町3番1号  
電話(099)227-6111  
www.yamataya.co.jp

健康の心得

一、少肉多菜

肉はひかえめ、野菜たっぷり肥満を防止

二、少塩多酢

塩分少なく、酢を多く、高血圧予防

三、少糖多菜

甘いものは砂糖より果物で楽しく

四、少食多噛

よく噛んで腹八分目にすれば健康のもと

五、少衣多浴

ウス着、風呂好き、丈夫な身体

六、少言多行

口つつしんで、良くからだを動かせ

七、少欲多施

何事も欲ばらず他人の為につくせ

八、少憂多眠

くよくよするよりよく眠りストレス解消

九、少車多走

車より「歩け歩け」は全身運動

十、少噴多笑

腹を立てず笑う門には福来たる

自分で守る自分の健康

夢と希望の明るい未来へ

健康万才



TV放映中!



“いい暮らし、いい家、みつきたい…”

不動産全般 売買 賃貸 管理

株式会社 豊永不動産

鹿児島市和田2丁目1-1 (和田小近く)  
☎ (099) 268-0011 FAX (099) 269-2388

★不動産 県知事許可(13)255号

- ◎建築設計・施工(確認・申請手続他)
- ◎建築工事業(新築・造成・整地)
- ◎インテリア内装(クロス・CF)
- ◎建具全般(タタミ・ふすま・ガラス戸)
- ◎カーテン(国内・国外)全般
- ◎解体工事
- ◎白アリ駆除(予防)
- ◎ガス工事
- ◎水道工事
- ◎電気工事
- ◎リフォーム工事(増改築)
- ◎植木剪定・庭造作
- ◎外壁サイディング
- ◎瓦工事・瓦塗装
- ◎雨漏り修理
- ◎外壁塗装・防水
- ◎サッシ工事(全般)
- ◎看板(全般)
- ◎テント・幌(全般)
- ◎家庭電化製品卸
- ◎室内クリーニング
- ◎引越(全国)小さな引越から、大きな引越まで。

のんびり・ゆったり・快適バスの旅 《新型コロナウイルス感染対策にも取り組んでおります》



貸切バス・団体旅行のご用命は・・・

南国交通観光株式会社  
販売促進課

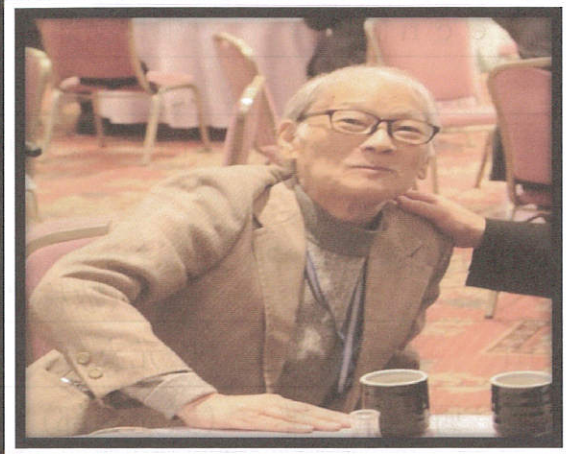
〒899-0841 鹿児島市照国町12-15

TEL 099-239-6877

FAX 099-222-3790

# 訃報のお知らせ

・・・心からご冥福をお祈り申し上げます・・・



中元廣美 様



岡本成利 様

当協会の役員として永年にわたりご活躍されたお二人が亡くなりました。  
生前のご厚意を感謝いたしますとともに謹んでお知らせ致します。

協会福祉新聞シリーズ『障害を越えて』を企画された中元さん、現在㊟連載になりました。

障害者の仲間が集まれば、それぞれが宿命的な障害に立ち向かい人生をたくましく生きています。とたくさんの人に生きるエールを届けてくださいました。

障害者施設の仲間にも元気を届けたいと結成された「花咲会」、南支部長、協会理事などを歴任されたたくさんの輝かしい功績を残してくださいました。元気になれるものと信じていました・・・

平成23年から協会副理事長に就任されて以来、松元支部長、鹿児島市身体障害者相談員会長など数々の要職を務めながら協会就労継続支援B型事業所にも参加して協会の運営に深く関わっていただきました。岡本さんのおっとりとした優しい性格は、誰にでも愛され、グラウンドゴルフもカラオケもお酒も嗜み、仲間との和をととても大切にされていました。

昨年の体育大会の「がんばろう」三唱を最後に入院されました。早過ぎる死を悼みます・・・



## 宮崎身障協との交流会

毎年恒例の「宮崎身体障害者福祉協会」との交流スポーツ大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、**中止**することとなりました。



## 青い鳥ハガキの申し込み



令和3年4月1日(木)～令和3年5月31日(月)  
青い鳥ハガキの申し込みを郵便局で受け付けています。  
(1人20枚までいただけます)  
障害者手帳1級・2級の方は手帳持参で最寄りの郵便局へ申請して下さい。(代理可)

## 新会員紹介

令和3年4月6日現在

白石 留美子 (南支部)	地頭所 年 幸 (中央支部)
末吉 陽子 (中央支部)	E i l e e n 橋口 (中央支部)
打越 浩之 (中央支部)	

(順不同・敬称略)



## 【物故者御芳名】心よりお悔やみ申し上げます (敬称略)

岡本 成利 (松元支部)	山 和代 (松元支部)
加藤 ナツ (松元支部)	下野 重雄 (松元支部)
中元 廣美 (南支部)	左近充 光明 (吉田支部)
弓指 愛子 (喜入支部)	前原 国治 (喜入支部)

令和3年4月13日までに事務所にご連絡頂いた方を掲載しています。

### 自動車部からのお知らせ

#### 【総会について】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とさせていただきます。

#### 【安全運転技能競技大会について】

9月に実施できることを願っております。

編集者 社会福祉法人  
 鹿児島市身体障害者福祉協会  
 財部 工  
 〒890-0067 鹿児島市真砂本町58-30  
 ☎ 099-253-9771  
 F A X 兼用 253-1426  
<http://www.ksk-free.jp/index.html>  
 メールアドレス sintai@wind.ocn.ne.jp  
 郵便振替口座 02010-3-18999

### ☆☆事務局だより☆☆

木々の緑も色鮮やかになり、会員の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は協会運営にご協力・ご理解を頂き心から感謝申し上げます。

No.53の新聞作成にあたりましては、お忙しい中、原稿執筆を快くお引き受けくださった皆様に、感謝申し上げます。また、掲載してもらいたい情報などありましたら、事務局へお知らせをよろしくお願いいたします。

なお、新年度を迎え、会費の振込用紙を同封させていただきました。既に納入済の際は、ご容赦ください。

また、新聞発送に際し、宛先不明で返送されることもありますので、住所の変更などございましたら、各支部長または事務局へご連絡をお願いいたします。

今後とも協会運営にご協力のほど、よろしくお願いいたします。

発行所  
 〒892-0875

鹿児島市身体障害者団体定期刊行物協会  
 コーポレートビル  
 鹿児島市上町七丁目八番三十一号  
 電話 099-253-9771  
 定価 100円 (購読料は会費に含む)